

製品名: リン酸化 MEK4 (Ser80) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe03805

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 44 kDa; Observed MW: 44 kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP2K4
別名	MAP2K4; JNKK1; MEK4; MKK4; PRKMK4; SEK1; SERK1; SKK1; Dual specificity mitogen-activated protein kinase kinase 4; MAP kinase kinase 4; MAPKK 4; JNK-activating kinase 1; MAPK/ERK kinase 4; MEK 4; SAPK/ERK kinase 1; SEK1; Stress-activated pro
遺伝子 ID	6416
SwissProt ID	P45985
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

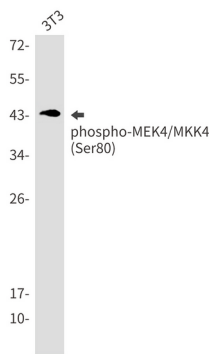
背景

この遺伝子は、マイトジェン活性化プロテインキナーゼ (MAPK) ファミリーのメンバーをコードしています。このファミリーのメンバーは、複数の生化学的シグナルの統合点として機能し、増殖、分化、転写調節、発達など、様々な細胞プロセスに関与しています。これらは、MAPKKK、MAPKK、MAPK からなる 3 層シグナル伝達モジュールを形成しています。このタンパク質は、MAPKKK によってセリンおよびスレオニン残基がリン酸化され、続いて下流の MAPK 標的タンパク質のスレオニンおよびチロシン残基をリン酸化します。マウスでは、同様のタンパク質が肝臓の器官形成に関与することが報告されています。この遺伝子の偽遺伝子は、X 染色体長腕に位置しています。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2013 年 7 月]

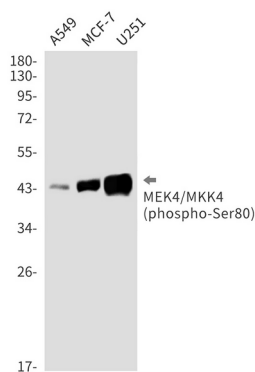
研究分野

シグナル伝達

画像データ



3T3 溶解物中の Phospho-MEK4 (Ser80) 抗体を使用した Phospho-MEK4/MKK4 (Ser80) のウエスタン ブロット分析。



Phospho-MEK4/MKK4 (Ser80) 抗体を使用した A549、MCF-7、U251 溶解物中の Phospho-MEK4/MKK4 (Ser80) のウエスタンブロット分析。